

ヤマト、W連結トラック運行を九州まで伸長

Edited By LogisticsToday On 2020/03/10

ヤマト運輸、ヤマトボックスチャーター、ヤマトマルチチャーターの3社は10日、ダブル連結トラックの「スーパーフルトレーラーSF25」を新たに8台導入し、関東-関西間の運行区間を10日から九州まで伸長する、と発表した。

。



新たに追加したのは、「厚木ゲートウェイ」から「福岡ベース」までの幹線輸送で、ヤマトボックスチャーターとヤマトマルチチャーターのトラクター（けん引車）にヤマト運輸のトレーラー（被けん引車）を連結して運行。途中の「関西ゲートウェイ」でドライバーを交代することで、長距離輸送の負担軽減を図る。

今後は、同区間で他社との共同輸送も検討し、国交省が昨年8月に対象路線とした東北路線でも運行することを目指すという。



Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/370016>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.